



NEWS LETTER きゃんさぽ

No.01

■創刊号に寄せて



理事長大島寿美子

皆さま、こんにちは。寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

キャンサーサポート北海道は 2014 年 1 月に札幌市から 特定非営利活動法人設立の認証を受け、2 月 3 日に法人登記をして正式発足しました。おかげさまで今月、満 4 歳を迎えることができました。

語り手の養成、しずくパッドの製造と頒布、ピアサポート研修とサロン運営を三本柱として、人と人とのつながりの力を活かして回復と成長を支え、体験の持つ力を社会に活かす活動を広げる基盤ができたこと、さらには関係機関・団体との交流を深めてきたことをうれしく思います。

当会の活動については、これまでもウェブサイトや Facebook ページ、メールマガジンでお知らせしてきましたが、より多くの方に当会の活動を知っていただくため今回、ニュースレターをお送りすることにいたしました。ご愛読くだされば幸いです。

なお、2018 年度会費納入のお知らせ及び新規会員募集の案内を同封いたしました。ぜひ一緒にこの活動を広げていきましょう。



■語り手養成講座

がん経験者が自らの体験を原稿にまとめ発表する「語り手」養成講座は当会発足時から続いている活動ですが、社会的な意義が評価されて本年度から札幌市の補助事業として新たなスタートを切りました。本年度は 1 月から 3 月まで毎月 1 回、市民活動プラザ星園で「一日コース」を開催、計 25 人が基礎編を修了する予定です。新年度は 4 月から来年 2 月まで偶数月に基礎編、5 月と 11 月に応用編を開催し、約 40 人の受講を目指します。さらに企業・団体向けに「出前講座」も始めます。「がんと就労」については社会的関心が高まっています。講座を開きたいという企業・団体をご存知の方は事務局までぜひご連絡ください。

(鈴木)

■しずくパッドチーム

「体にやさしい」と好評を博している補整具「しずくパッド」は売れ行きが好調で本年度は 500 個の大台に乗りそうです。毎週水曜日の午前 10 時半から 2 時間ほど、北星学園大学で行っているパッドの発送作業も大忙しでチーム一同張り切って作業に取り組んでいます。引き続きボランティアを募集していますので、どうぞお気軽にご参加ください。

(田村)

■ピアサポート

新年度の日程を決めました。日中開催の「昼のサロン」に加えて、新たに「夜のサロ

ン」も開催します。お勤め帰りなどにどうぞお立ち寄りください。

【昼のサロン】

毎月 1 回・第 3 土曜日の午後 1 時半～3 時半、かでの 2・7 の和室えぞまつ

(1)サポートグループ・ぴあ:

5/19、7/21、9/15、11/17、1/19、3/16

(2)希少がんサロン「カンナの花」:

4/21、6/16、8/18、10/20、12/15、2/16

【夜のプチがんサロン】

毎月 1 回・第 4 木曜日の午後 6 時～8 時、札幌市市民活動サポートセンター会議室または打ち合わせスペース(参加費:キャンサー协会会员 500 円、その他 600 円)

(1)サポートグループ・ぴあ:

4/26、6 月、8 月、10 月、12 月、2 月(6 月以降の日取りは未定)

(2)希少がんサロン「カンナの花」:

5/24、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月(7 月以降の日取りは未定)

【ピアサポーターによる面談=要予約】

毎週月曜日(第一週除く)午前 10 時 30 分～午後 2 時 30 分、札幌市市民活動サポートセンターの事務ブースでワンコイン(30 分ごとに 500 円)で相談に応じます(最長 1 時間まで)。ただし、医療的アドバイスはしません。「気持ちの整理」を目的とします。申し込みはメールで

kishogan@cancersupport.jp へ。

【ピアサポート研究会】

・ベーシックコース:6/9、7/14(全 1 回)

・エッセンシャルコース:語り手養成講座と同一日に開催(全 1 回)

・アドバンスコース:

8/4、9/8、10/13、11/10、12/8(全 5 回)

(平馬)

■新事務所を開設

当会は北星学園大の大島理事長の研究室に事務所を置いています、「語り手養成講座」が札幌市の補助事業となったのを機に、札幌エルプラザ内の札幌市市民活動サポートセンターに事務ブースを借り、2017年12月1日から業務を始めました。今後は大島研究室との2カ所体制となります。新事務所は広さ4平方mとコンパクトなつくりで、当会会員はセンター受付にある専用受付票に人数を書くだけでセンター内の打ち合わせスペースや印刷室などもども使うことができます。ご活用ください。

●毎月第3金曜日にランチ会

新事務所開設をきっかけとして、会員の交流促進を目指す「ランチ会」を開いています。これまで3回開き、持参のお弁当をつつきながら近況や関心事などを気軽に話しています。3月は16日午前11時30分からです。

■FFJCPでポスター発表

「FFJCPって何だろう」と思う方も多いと思います。正式には「Forum for Japan CancerPatients」（日本のがん患者のための研修会）と言います。

研修会は毎年、東京で開かれていて今年が4回目。井上美智代さんと田村の2人が1月27、28日の2日間、参加してきました。

全国56患者団体の約100名が集い、初日はプレジジョンメディスン（高精度医療）の現状や海外の患者活動、資金調達法、さらには東京から・豊洲で精力的な支援活動を展開するマギーズ東京の運営について聞きました。全参加団体によるポスターセッションでは、キャンサーサポートも参加、縦210cm×横90cmのパネ

ルに用意したポスターを貼り、日ごろの活動を報告しました。私たちの報告は会場の熱気にあおられ？持ち時間をオーバーしてしまいました（笑）。

2日目は「新しい医療の動向と患者参加」をテーマに10名ずつのグループ討議と全体討議でした。私のグループのテーマは、「患者会について」。所属している団体の現状・問題点を出し合い解決策を探っていくことで、これからの患者会の在り方について考えました。

全国の患者会と交流して、そのパワーと活動に励まされ、とても刺激的な2日間でした。同時通訳のイヤホンをつけて講演を聴いたり電子端末でアンケートに答えたり、ポスターセッションも含めてワクワクドキドキの体験でした。来年も同時期に開催されるとのことですので、皆さんもぜひ参加してみてください。

（田村）

■ヘルプマーク普及を

会員の寺地恵子さんは「北海道でヘルプマークを広げよう～真っ赤なマークを知ってっ会～」代表として、「ヘルプマーク」の普及に力を注いでいます。以下は寺地さんからのメッセージです。詳しくは寺地さん(kometiti51@gmail.com、FB:@HM.Sittekkai)まで。

●

ヘルプマークは、外見からは分かりにくい障がいのある人が、カバンなどに付けて、乗り物に乗るときなどに周囲に支援を求めやすくなるものです。札幌市と北海道でも昨年10月からようやく配布が始まりましたが、1万個を作った札幌市で1カ月ほどで品切れするところもあり、関心の高さに驚いています。地下鉄各駅や市役所本庁舎、区役所、身体障害者福祉センターなどで受け取ることができま

す。私自身も、病院への行き帰りに立っているのがつらいとき、優先席に気兼ねなく座れるようになりました。ヘルプマークのことを知らない方が周りにいたら、「ヘルプマーク、知ってっかい？」と話題にしてください。それだけで普及のお手伝いになります。

■会員・サポーター募集中！

キャンサーサポート北海道は発足5年目を迎えました。がん患者や家族が体験を通して自ら回復し成長を目指すとともに、がんになっても希望を持って生きられる社会を作るため、会員・サポーターとして皆さんの力をお貸しください。

入会ご希望の方は

<http://cancersupport.jp/becomeamember>から用紙をダウンロードして適宜ご記入後、当方へお送りください。詳細は以下のページをどうぞ。

<http://cancersupport.jp/cancersupport/2482.html>

【法人所在地】

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西

2-3-1 北星学園大学文学部心理・応用コミュニケーション学科大島研究室内

【エルプラザ事務所】

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目

札幌エルプラザ2階 札幌市市民活動サポートセンター事務ブース No.7

TEL:070-5286-2731 FAX:011-351-5466

info@cancersupport.jp

NEWSLETTER「きゃんさぼ」

2018年2月19日発行 NO.1

発行人・大島寿美子

編集担当・鈴木隆司